

看護の統合と実践

目標 I 看護におけるマネジメントの基本について理解を問う。

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 看護におけるマネジメント	A 看護マネジメントの概念	1	a 看護マネジメントの定義	0	看護管理 2章1節3項 看護管理の三つのレベル (p.29-31) / 3章1節2項 マネジメントとは何か (p.64-65)
			b 看護組織と職務	0	看護管理 2章2節1項 組織の理解 (p.34-37) 看護学概論 15章2節 専門職としての看護組織 (p.273-275)
			c 組織経営と看護	1	看護管理 7章3節1項 組織決定と病院経営 (p.194) 看護学概論 15章1節 看護に求められる教育 (p.272-273)
	B 医療・看護の質保証	9	a 医療・看護の質と指標	3	看護管理 4章3節1項 医療の質とは (p.129-131) 医療安全 2章5節 医療の質の評価 (p.57-59) 看護学概論 12章2節3項 看護サービスの質保証の考え方 (p.239)
			b 病院機能評価	0	看護管理 4章3節4項 第三者による評価 (p.133-135) 医療安全 2章5節2項 医療の質の評価への取り組み (p.58-59) 看護学概論 10章5節3項 医療機関の第三者評価 (p.218) 看護をめぐる法と制度 2章 医療提供の理念と医療安全：医療法での扱い (p.40-48)
			c 医療・看護の標準化とクリニカルパス	3	看護管理 3章2節1項 看護管理にとっての効率性と効果性 (p.70-72) 看護学概論 12章2節4項 クリニカルパス (p.239-240)
			d 看護業務管理、看護の交代勤務	1	看護管理 3章3節2項 労働の管理 (p.80-83) 看護学概論 12章1節3項 看護のマネジメント・プロセス (p.232-237)
			e 看護業務基準、看護手順	1	看護管理 2章3節2項 看護管理システム (p.44-47), 4節3項 plus a 「看護業務基準」 (p.53) / 4章1節2項 経営倫理 (p.114-117) 看護学概論 1章3節2項 看護業務基準 (p.31)
			f 看護制度、看護提供システム	1	看護管理 3章7節2項 看護サービスの提供 (p.104-107) 看護学概論 1章4節3項 現代の看護 (p.41-47)
			g 診療報酬制度	0	看護管理 7章2節2項 診療報酬制度 (p.192-193) 看護学概論 10章5節2項 診療報酬による評価 (p.213-217)
			h 重症度、医療・看護必要度	0	看護管理 7章3節 コラム 重症度、医療・看護必要度 (p.196) 看護学概論 12章1節2項 マネジメントの対象となる資源 (p.230-232)
	C 保健医療の機能分化と連携	2	a 看護の専門性と多職種連携	1	看護管理 2章5節 市民・多職種との連携・協働 (p.54-61) / 3章2節2項 多職種連携の中での看護管理 (p.72-73) 看護学概論 11章1節1項 チームアプローチ (p.222-223) 臨床看護総論 3章1節3項 チーム医療の機会 (p.105-108) 看護をめぐる法と制度 3章1節1項 保健師助産師看護師法 (p.50-75)
			b 病床機能報告	0	看護管理 8章2節4項 医療政策・介護政策分野 (p.207-210) 看護をめぐる法と制度 4章2節1項 医療法 (p.184)
			c 医療計画	1	看護管理 7章2節5項 医療制度改革と医療計画 (p.193-194) 看護をめぐる法と制度 4章2節1項 医療法 (p.181-184)
			d 継続看護、入・退院調整	0	看護管理 3章3節2項 労働の管理 (p.80-83) 地域療養を支えるケア 3章2節1項 医療機関における入退院時の連携 (p.77-85)
e 地域包括ケアシステム			0	看護管理 1章1節4項 看護が行われる場と活動 (p.14-15) 地域療養を支えるケア 3章1節1項 地域包括ケアシステムとは (p.70-72)	

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 看護におけるマネジメント	D 情報のマネジメント	6	a 医療情報の利活用	0	看護管理 3章5節 情報の管理 (p.94-98) 看護学概論 12章1節2項 マネジメントの対象となる資源 (p.230-232) 看護をめぐる法と制度 6章4節2項 次世代医療基盤法 (p.288-289)
			b 情報の公開	0	看護管理 3章5節4項 医療情報に関する倫理的側面 (p.98) 看護学概論 1章3節4項 指針・ガイドライン (p.35-36)
			c 個人情報の保護と管理、診療情報等の開示	5	看護管理 3章5節4項 医療情報に関する倫理的側面 (p.98) 看護学概論 12章1節2項 マネジメントの対象となる資源 (p.230-232) 看護をめぐる法と制度 4章2節1項 コラム 診療記録と個人情報保護法の開示請求 (p.186) / 6章4節1項 個人情報保護法 (p.284-288)
			d 診療記録等の電子化と医療情報システム	1	看護管理 3章5節3項 看護ケアに必要な患者の医療情報 (p.95-97) 看護学概論 12章1節2項 マネジメントの対象となる資源 (p.230-232)
	E 医療安全のマネジメント	15	a 安全管理体制整備と医療安全文化の醸成	12	医療安全 4章3節 全員参加の医療安全：安全文化の醸成 (p.114-119) 看護管理 4章2節 医療安全 (p.119-128) 看護学概論 12章3節4項 事故防止に役立つチェックシステム (p.242-243) 看護をめぐる法と制度 2章3節 医療安全 (p.43-47)
			b 医療事故・インシデントレポートの分析と活用	3	医療安全 2章4節 医療事故の報告制度 (p.55-57) / 3章2節2項 事故分析に重要なこと (p.80-82), 3項 具体的な分析手法の特徴 (p.82-86) 看護管理 4章2節4項 組織で取り組む医療安全 (p.120-125) 看護学概論 12章3節3項 ヒヤリ・ハットレポートの重要性 (p.241-242) 看護をめぐる法と制度 2章3節2項 医療事故の報告と調査の義務 (p.43-45)
			c 多重課題の特徴と対応	0	医療安全 3章1節3項 エラーを誘発しやすい環境 (p.72-74) 看護管理 4章2節4項 コラム 多重課題 (p.128) / 5章1節2項 社会の一員としてのセルフマネジメント (p.138-140) 看護学概論 12章3節4項 事故防止に役立つチェックシステム (p.242-243)
	F 人材育成・活用	6	a 継続教育、キャリア開発	1	看護管理 6章2節2項 継続教育 (p.175-178), 3節1項 看護職のキャリア (p.179-180), 3項 専門職として生涯成長し、学び続ける (p.184-186)
			b 認定・専門看護師の資格と活動	0	看護管理 6章2節2項 継続教育 (p.175-178)
			c 特定行為に係る看護師の研修制度	1	看護管理 1章2節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律から今日まで (p.22-24) / 8章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.200-203), 2節6項 看護職員の量の確保および質の向上のための政策 (p.211-215) 医療安全 1章2節3項 看護業務の変遷と安全管理 (p.22-26) 看護をめぐる法と制度 3章1節1項 保健師助産師看護師法 (p.60-65) 看護学概論 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.179-183)
			d 看護師等の確保、就業継続、看護師等の届出制度	1	看護管理 8章1節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.203-204), 2節6項 看護職員の量の確保および質の向上のための政策 (p.211-215) 看護をめぐる法と制度 3章1節2項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.76-78) 看護学概論 9章2節2項 主な関連法規 (p.183-184)
			e 看護師等の労働安全衛生	2	看護管理 3章3節3項 労働環境管理 (p.83-88) 看護をめぐる法と制度 6章8節3項 労働安全衛生法 (p.309-311)
			G 看護政策と行政	0	a 看護政策立案の過程
			b 看護行政の組織と役割	0	看護管理 8章2節1項 政策・制度と看護サービス (p.205-206)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

目標Ⅱ 災害看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
2 災害と看護	A 災害医療	14	a 災害の特徴	1	災害看護 1章1節1項 災害とは (p.14)
			b 災害と法制度	1	災害看護 3章2節 災害医療に関する法律 (p.54-65) 看護学概論 13章8節 災害と法律 (p.256-257) 看護をめぐる法と制度 6章3節 災害政策に関する法律 (p.282-283)
			c 災害時の支援体制と医療体制	12	災害看護 3章1節 災害医療に関する国の政策 (p.50-53) 看護学概論 13章6節 災害サイクルと必要とされる看護 (p.253-254)
	B 災害の種類と特徴	0	a 自然災害	0	災害看護 2章1節2項 自然災害 (p.27-31)
			b 人為的災害	0	災害看護 2章1節3項 人為災害 (p.31-32)
			c 特殊災害	0	災害看護 2章1節4項 特殊災害 (p.32-33)
			d 複合災害	0	災害看護 2章1節5項 複合災害 (p.33-34)
	C 災害各期の看護	21	a 災害看護の特徴	1	災害看護 2章3節 災害サイクル (p.39-45) / 7章 災害初期から中長期における看護活動 (p.165-192) 看護学概論 13章5節 災害看護とは (p.252)
			b 災害各期(超急性期・急性期・慢性期・静穏期)の特徴	11	災害看護 7章 災害初期から中長期における看護活動 (p.165-192) 看護学概論 13章6節 災害サイクルと必要とされる看護 (p.253-254)
			c 各期における保健医療の役割と看護	4	災害看護 7章 災害初期から中長期における看護活動 (p.165-192) 看護学概論 13章6節 災害サイクルと必要とされる看護 (p.253-254)
			d 各期における要援護者への看護	5	災害看護 5章 配慮を必要とする人への支援と看護 (p.105-146)

目標Ⅲ グローバル化を視野に入れた国際社会における看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 単行本「国際化と看護」 該当箇所
3 国際化と看護	A 看護における国際化の視点	5	a グローバル化と世界共通の健康目標	2	国際化と看護 1章1節 グローバルな看護師 (p.8-11), 2節1項 国境を越える医療の流れ (p.15-16), 4項 グローバル化する医療の中で知っておくべきこと (p.21-23) / 2章1節2項 世界共通の健康目標 (p.32-33), 2節2項 保健医療に関する重要な宣言や概念 (p.39-43) 災害看護 10章3節1項 グローバリゼーションと国際看護 (p.234-235), 2項 日本の国際協力活動 (p.235-239)
			b グローバル化と人間の安全保障	0	国際化と看護 2章1節 地球規模課題としての社会的健康格差と健康目標 (p.26-33) 災害看護 10章3節1項 グローバリゼーションと国際看護 (p.234-235)
			c 国家・地域間の健康格差	3	国際化と看護 2章1節1項 地球規模課題としての社会的健康格差 (p.26-31) 看護学概論 3章2節4項 医療と政策 (p.85-86)
			d 国際保健における日本の役割	0	国際化と看護 2章3節1項 国際保健医療活動を支える機関 (p.45-46), 2項 国際保健における日本の役割 (p.50-54), 3項 国際協力活動において看護が果たす役割 (p.55-57), 4節2項 国際看護師協会 (ICN) と国際助産師連盟 (ICM) (p.63-65) 災害看護 10章3節2項 日本の国際協力活動 (p.235-239)
			e 諸外国の看護制度	0	国際化と看護 2章4節1項 看護制度とは (p.59-63) 看護学概論 1章3節5項 米国における看護の基準 (p.36-37) 地域療養を支えるケア 9章1節 在宅看護の先駆的取り組み (p.260-266)

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『国際化と看護』該当箇所
3 国際化と看護	B 国際社会における看護の対象	7	a 在留外国人	6	<p>国際化と看護 1章2節3項 日本で診療を受ける人の多様性 (p.17-21), コラム あなたの病院に外国人の患者が来たら (p.24) / 3章1節 グローバル化する医療の現場 (p.68-76), 2節1項 在留外国人と訪日外国人の特徴と看護 (p.79-80), 4項 子どもへの看護 (p.89-91), 5項 新生児への看護 (p.92-95), 6項 妊産婦への看護 (p.95-99), 7項 感染症の疑いのある患者への看護 (p.99-104), コラム1 日本の病院で外国人が困るケース (p.105), コラム2 外国人患者の受診で体験したさまざまなケース (p.106-107), 3節 地域における在留外国人への支援の実際 (p.108-128), 4節 国内における在留外国人への支援の課題ー医療通訳制度確立に向けた取り組みー (p.131-140), 5節 コラム1 外国人からみた日本の看護 (p.156), 6節2項 渡航における健康支援 (p.169-170)</p> <p>看護管理 1章1節5項 看護の対象の多様化と看護活動 (p.15-16), 6項 看護職者の多様化と看護活動 (p.16-17)</p> <p>災害看護 10章2節1項 増え続ける外国人患者 (p.228), 4項 災害時要援護者と支援者としての在留外国人 (p.231-233)</p>
			b 在外日本人	0	<p>国際化と看護 3章5節 コラム 海外で働く日本人看護師からの手紙 (p.157-158), 6節 渡航における感染対策と健康支援の実際 (p.159-169)</p> <p>災害看護 10章1節3項 異文化への配慮 (p.225-226)</p>
			c 帰国日本人	1	<p>国際化と看護 3章1節 コラム 日本の「玄関口」検疫所で働く看護師 (p.77-78), 6節 渡航における感染対策と健康支援の実際 (p.159-169)</p> <p>災害看護 6章2節5項 医療者のストレスマネジメント (p.160-162)</p>
			d 国際協力活動を必要とする人々・地域・組織	0	<p>国際化と看護 2章1節1項 地球規模課題としての社会的建格差 (p.26-33), 3節2項 国際保健における日本の役割 (p.50-54), コラム いろいろなものさしで考えるー青年海外協力隊の活動を通してー (p.58) / 3章5節 海外における看護の実際 (p.141-155)</p> <p>災害看護 10章3節3項 世界で期待される災害看護とは (p.240)</p>
	C 多様な文化と看護	6	a 文化を考慮した看護	5	<p>国際化と看護 1章1節 コラム international nursingと transcultural nursing (p.13-14), 2節 国境を越える人の社会的動向 (p.15-23), コラム あなたの病院に外国人の患者が来たら (p.24) / 2章3節 コラム いろいろなものさしで考えるー青年海外協力隊の活動を通してー (p.58) / 3章1節 グローバル化する医療の現場 (p.68-76), 2節 病院における外国人への看護と感染症対策の実際 (p.79-104), コラム1 日本の病院で外国人が困るケース (p.105), コラム2 外国人患者の受診で体験したさまざまなケース (p.106-107), 3節 地域における在留外国人への支援の実際 (p.108-128), 4節 国内における在留外国人への支援の課題ー医療通訳制度確立に向けた取り組みー (p.131-140), 5節 海外における看護の実際 (p.141-155), コラム1 外国人からみた日本の看護 (p.156), コラム2 海外で働く日本人看護師からの手紙 (p.157-158), 6節 渡航における感染対策と健康支援の実際 (p.159-170)</p> <p>看護学概論 14章1節 国際保健・看護とは何か (p.262-264), 5節 国際協力を行う看護職に求められるもの (p.268-269)</p> <p>災害看護 10章1節3項 異文化への配慮 (p.225-226), 2節3項 グローバル化社会における多文化共生の地域ケア (p.229-231)</p> <p>看護管理 1章1節5項 看護の対象の多様化と看護活動 (p.15-16)</p> <p>地域療養を支えるケア 9章1節 コラム (p.266-269)</p>
			b 在留外国人の保健医療課題と看護	1	<p>国際化と看護 3章1節 グローバル化する医療の現場 (p.68-76), 2節1項 在留外国人と訪日外国人の特徴と看護 (p.79-80), コラム1 日本の病院で外国人が困るケース (p.105), コラム2 外国人患者の受診で体験したさまざまなケース (p.106-107), 3節 地域における在留外国人への支援の実際 (p.108-128), コラム 日本で生活する外国人技能実習生・留学生の背景と課題 (p.129-130), 4節 国内における在留外国人への支援の課題ー医療通訳制度確立に向けた取り組みー (p.131-140)</p> <p>看護管理 1章1節5項 看護の対象の多様化と看護活動 (p.15-16)</p> <p>災害看護 10章2節2項 国際化に向けた医療機関の体制整備 (p.228-229)</p> <p>看護学概論 14章1節 国際保健・看護とは何か (p.262-264)</p>

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『国際化と看護』該当箇所
3 国際化と看護	D 国際協力活動と看護	9	a 国際機関の役割	5	国際化と看護 2章2節 世界の保健医療を支える機関と重要な概念 (p.34-43), 3節1項 国際保健医療活動を支える機関 (p.44-49), 4節2項 国際看護師協会 (ICN) と国際助産師連盟 (ICM) (p.63-65) 災害看護 10章3節2項 日本の国際協力活動 (p.235-239) 看護学概論 14章3節 国際機関の動き (p.267-268), 4節 日本の実施する国際協力活動 (p.268)
			b 国際協力活動において看護が果たす役割	1	国際化と看護 2章3節3項 国際協力活動において看護が果たす役割 (p.55-57) / 3章5節 海外における看護の実際 (p.141-155) 災害看護 10章3節1項 グローバリゼーションと国際看護 (p.234-235), 2項 日本の国際協力活動 (p.235-239) 看護学概論 14章1節 国際保健・看護とは何か (p.262-264), 4節 日本の実施する国際協力活動 (p.268)
			c 政府開発援助 (ODA) を通じた開発途上国援助	3	国際化と看護 2章3節1項 国際医療保健活動を支える機関 (p.44-49), 2項 国際保健における日本の役割 (p.50-54) / 3章5節2項 ナイジェリアでの母子健康強化プロジェクト (p.142-146) 災害看護 10章3節2項 日本の国際協力活動 (p.235-239) 看護学概論 14章2節 開発途上国の健康問題 (p.264-266), 4節 日本の実施する国際協力活動 (p.268)

目標Ⅳ 複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を問う。

大項目	中項目	出題数	小項目	出題数	ナーシング・グラフィカ 単行本『国際化と看護』該当箇所
4 各領域 (A～J) の看護の統合	A 基礎看護学		※ A～J の中項目を2項目以上含む、臨地の状況に近い複合的な事象における統合的な問題として出題する。		看護学概論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術 看護研究 臨床看護総論 成人看護学概論 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 セルフマネジメント 周術期看護 リハビリテーション看護 緩和ケア 高齢者の健康と障害 高齢者看護の実際 小児の発達と看護 小児看護技術 小児の疾患と看護 概論・リプロダクティブヘルスと看護 母性看護の実際 母性看護技術 情緒発達と精神看護の基本 精神障害と看護の実際 地域療養を支えるケア 在宅療養を支える技術 看護管理 医療安全 災害看護 単行本『国際化と看護』
	B 成人看護学				
	C 老年看護学				
	D 母性看護学				
	E 小児看護学				
	F 精神看護学				
	G 在宅看護論				
	H 看護におけるマネジメントの基本				
	I 災害と看護				
	J 国際化と看護				